

第 25 回日本時間生物学会学術大会のお知らせ

第 25 回日本時間生物学会学術大会を 2018 年 10 月 20 日から 21 日の 2 日間、長崎大学医学部記念講堂・良純会館・ボンペ会館で開催いたします。2017 年度ノーベル医学生理学賞が「概日時計の分子機構の解明」に対して授与されたことは学会にとって大きな喜びであり、今後我々がいかに時間生物学を発展させていくか広く注目が集まっています。そこで本大会は、「From the Discovery to Innovations」というテーマを設定いたしました。

学術大会では、自治医科大学・永井良三学長にライフサイエンスの将来を示す特別講演を、大阪大学・仲野徹教授には新しい生命像をえがくエピジェネティクスの教育講演をお願いしています。また、多様なテーマのシンポジウム 6 セッションと共にポスター発表には全員が参加するデータブリッツを企画しています。

前日の 10 月 19 日（金）には、「20 Years since Discovery of Mammalian Clock Genes」と題した国際シンポジウムを開催いたします。Plenary Lecture としてカリフォルニア大学ロサンゼルス校 Gene Block 学長に元アメリカ科学財団生体リズムセンター統括の立場から御講演頂きます。さらに若手研究者のプロジェクト参加を待望する国内外 PI によります「PI Global Session」、Landmark Lecture として「Mammalian Clock Genes Cloned in Japan」を企画しております。

また 10 月 20 日（土）にはグラバー園を貸し切って懇親会を予定しております。長崎は、グラバー園や端島（軍艦島）などが、『明治日本の産業革命遺産』として世界遺産に指定され、教会群も世界遺産の候補となっています。また日本の医学史を学ぶ上で欠かすことのできない、鳴滝塾跡のシーボルト記念館など見所がいっぱいです。是非この機会に長崎の街も楽しんでいただければ幸いです。

それでは、西洋医学発祥の地、異国情緒あふれる長崎で皆様にお目にかかれるのを楽しみにしております。

第 25 回日本時間生物学会学術大会
大会長 前村浩二
(長崎大学大学院医歯薬学総合研究科)

【大会概要】

会期： 2018 年 10 月 19 日 JSC 国際シンポジウム
2018 年 10 月 20 日～21 日 第 25 回日本時間生物学会学術大会
会場： 長崎大学 医学部記念講堂・良純会館・ボンペ会館（長崎市坂本）
大会ホームページ： <http://www.c-linkage.co.jp/25jsc/>
参加登録・演題申し込み： 5 月中旬よりホームページで登録受付開始予定

【プログラム】

2018 年 10 月 19 日（金）

International Symposium on Biological Rhythms

“20 Years since Discovery of mammalian Clock Genes”

Plenary Lecture: Gene Block (University of California Los Angeles)

“11 years in NSF Center for Biological Timings”

PI Global Session:

Alec Davidson (Morehouse), Emi Nagoshi (Geneva), Tsuyosi Hirota (Nagoya), Shihoko Kojima (Virginia Tech), Shin Yamazaki (UT Southwestern Medical Center)

Landmark Lectures: “Mammalian Clock Genes Cloned in Japan”

Hajime Tei (Kanazawa), Masaaki Ikeda (Saitama Med), Takeshi Todo (Osaka)

2018年10月20日(土)～21日(日)

第25回日本時間生物学会学術大会

特別講演

永井良三(自治医科大学)「日本におけるライフサイエンスの将来」(仮題)

教育講演

仲野徹(大阪大学)「エピジェネティクスとはなにか？」

シンポジウム **Medicine** 「ヒトへの応用に向けた時間医学研究の新動向」

オーガナイザー: 前村浩二(長崎大学)、小柳悟(九州大学)

シンポジウム **Society** 「個人、組織、社会の時刻合わせー最大多数の最大幸福は善かー」

オーガナイザー: 三島和夫(国立精神神経センター)、樋口重和(九州大学)

シンポジウム **Diversity** 「生物時計の多様性と普遍性」

オーガナイザー: 吉村崇(名古屋大学)、中道範人(名古屋大学)

シンポジウム **Physiology** 「個体に表出する時間生理学」

オーガナイザー: 三枝理博(金沢大学)、増淵悟(愛知医科大学)

シンポジウム **Origin** 「Origin of Circadian Rhythms」

オーガナイザー: 八木田和弘(京都府立医科大学)、大出晃士(東京大学)

シンポジウム **Discovery** 「Epoch-making Discoveries in Chronobiology」

オーガナイザー: 糸和彦(名古屋市立大学)、岩崎秀雄(早稲田大学)

ポスター発表データブリッツ

ポスター発表

優秀発表授賞式

総会・奨励賞授賞式・受賞講演

懇親会 (グラバー園)